

[第896回ゼミ報告] 2025年2月21日号

積雪が5メートルに達し12年ぶり青森から。この三連休は大雪になるとの予報も。地球の温暖化で雪の量が増える可能性があるとも、えっ?!
2月12日ゼミは、D.グレーバー/D.W『万物の黎明』の第1章「人類の幼年期と決別する」と第2章「よこしまなる自由」の前半を竹内さんの報告で行いました。この本は、V.C.チャイルド『ヨーロッパ文明の黎明』に倣い対抗した題名である。農耕開始以前の狩猟採取民の世界は大胆な社会実験、世界最古の都市の多くが平等主義で組織された。自由・平等・民主主義の理想が「西欧的伝統」の産物であるとの考えには実際驚愕する。人間として機会の平等を実現したのは先住民社会のほうであり、社会的つながりの強さがある。先住民の異質な生活がかくも魅力的で興味をそそられる。アダム・スミス以来競争的市場交換の形態が人間の本性に根差すというが、「原始交換」で物品ははるかな教理を移動する。本書の試みは新しい世界史の基礎を築き、今日の社会的変革の可能性について、17世紀のヨーロッパの植民者とアメリカ先住民の知識人ととの遭遇から始める。アメリカ先住民は自由・平等・合理性の議論を行い、ヨーロッパの諸制度に一貫した独自の批判を展開した。個人的自由と政治的平等の理想は、先住アメリカ人から触発されたという。討論では、人類は狩猟採取する小集団で「農耕革命」が起き、都市が出現し、文明国家の起源とする。しかし農業革命がない場合はどうだろう。西欧批判する先住民から「民主主義」を学ぶ。アメリカの先住民対策からナチスは学んだのでは。狩猟採取から農業へというが、農業は必ずしも安定しない。ナバホ族では、彼らに文明が入り、それからアルコール依存症が増えたとも。会場参加は小野さん・川口さん・山口さん・高田、オンライン参加は斎藤さん・竹内さん・田中さん・後藤さんの合計8名の参加でした。

* 2月26日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 859 7231 5472 パスコード: 220233

* 『資本論第3巻』著者「佐々木隆治さんと語る会」は3月26日(水)午後5時半～8時、オンライン併用で行います。所員・所友の方々も参加できます。参加希望の方は、事前にメールでお申込み下さい：

・申込締切3月18日：メールあて先：ytakada@kcn.ne.jp

* 次回で佐々木『資本論第3巻』の最終章で、3月後半は「語る会」の予定です。その次のテキストへの推薦本を募ります。ご提案ください。

***** ゼミ日程 *****

2月26日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

佐々木『資本論第3巻』7章 収入(所得)とその限界 報告：竹内さん

3月12日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

グレーバー『万物の黎明』2章(残り)と[イロコイ民主制] 報告：竹内さん

3月26日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

『資本論第3巻』著者「佐々木隆治さんと語る会」

その後 4/9, 4/23, 5/14, 5/28, 6/11, 6/25, 7/9, 7/23